

運営に関する計画

令和7年4月

大阪市立茨田西小学校

大阪市立 茨田西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

I 学校運営の中期目標

現状と課題

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合は 85.2%となり、目標を上回ることができた。引き続きいじめに対する基本認識の徹底を図り、否定的な「思わない」と回答する児童の割合を減らしていく。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率は 2.03%で前年度より減少することができなかつた。各種相談機関と連携したりサポートルーム登校を促したりしたことで、サポートルームに登校できるようになった児童もいる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合は 33.3%にとどまった。引き続き、各種相談機関との連携を図り、改善へと促していく。
- 小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 91%で目標を上回った。引き続き学校に楽しく登校できる学校づくりを目指して、全教職員で取り組んでいく。
- 小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「将来の夢や目標をもっていますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合は 88%で目標を上回ることができた。
- 小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 96.3%で目標を大きく上回った。
- 小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 83.7%と目標を達成し、日々、児童の自己肯定感を高める声かけ、良さを認め合う活動に取り組んだ結果である。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度の小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 75%以上にする。
- 令和7年度末の児童アンケートにおける「朝食を毎日食べていますか」に対して、「毎日食べている」と回答する児童の割合を 95%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の授業日において学習者用端末を毎日使用する児童の割合を 100%にする。
- 令和7年度の教員の時間外勤務時間上限基準の年平均達成率を 80%以上にする。
- 令和7年度の研修後のアンケートにおける「研修の内容は充実していましたか」に対して肯定的に回答する割合を 90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。
- ・年度末の校内調査における「学習の内容がよくわかる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ・教員の時間外勤務時間上限基準1の年平均達成率を81%以上にする。
- ・研修後のアンケートによる「研修の内容は充実していましたか」に対して肯定的に回答する割合を90%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立 萩田西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標】安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R6 91%) ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。(R6 85.2%) ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R6 83.7%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向】、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>生活指導研修会を毎月行うことによって、全教職員で児童理解を深め、課題を抱える児童の課題解決に向けて話し合い、共通理解を図る。また、学校行事や児童会活動を通して児童一人一人の力や考えを發揮し自己有用感を高め、仲間と助け合いながら異学年交流する場を設定する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査・年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。 <p>取組内容②【基本的な方向】、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめについて考える日を年一回以上設定し、児童の実態に応じた取り組みを行い、「いじめとは何か」について理解を深め、ひとりひとりを大切にした学級経営を行う。また、いじめアンケートを毎学期実施し、いじめの早期発見に努めるとともに、認知した事案については迅速かつ組織的に対処する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。 <p>取組内容③【基本的な方向】、豊かな心の育成】</p> <p>年間計画に基づき人権教育を実践する。また、学級の実態に応じた「よさ見つけ」の活動などを通して、自らのよさに気づき（自尊感情）、一人一人の違い（個性）を認められる態度を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査・年度末の校内調査における「自分には、よいところがありますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

最終評価への改善点

(様式2)

大阪市立 萩田西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。(R6 48%) ・年度末の校内調査における「学習の内容がよくわかる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6 95%) ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。(R6 72%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>友だちとの間で話し合う機会を増やすことにより、主体的・対話的な活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりできる児童を育成する。教員の授業力向上を図るために、年間計画に従い各学年において1回以上の総合的読解力を中心とした研究授業・討議会を行う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査・年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>誰一人取り残さない学力の向上を図るために、個々の力を把握し、誰もがよくわかる授業を目指した指導を工夫する。また、個に応じたきめ細やかな指導や支援を行えるよう、各種サポーターの活用を工夫する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「学習の内容がよくわかる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>学習カードや資料の作成・共有を通して、全学年で児童が達成感を得られる授業づくりを行い、進んで運動に取り組む児童の育成を図る。また、工事で運動場が狭くなったことにより運動量、運動する機会が減少しないよう、休み時間の遊び方や遊ぶ場所を工夫し、設定する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査・年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
最終評価への改善点

(様式2)

大阪市立 萩田西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(R6 32%) 教員の時間外勤務時間上限基準1の年平均達成率を81%以上にする。(R6 80%) 研修後のアンケートによる「研修の内容は充実していましたか」に対して肯定的に回答する割合を90%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DXの推進】</p> <p>心の天気を毎朝入力したり、発表ノートや画像や動画の撮影・編集、インターネット検索などを活用した指導を学期に1回は実践したりして、ICTを活用した教育を推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>ゆとりの日を計画的に週1回設定する。同時に、月1回の職員会議や生活指導研修会では、ICTの有効な活用により学校経営の効率化を図る。「部会の日」を設定し、会議を並行して行うことで放課後にゆとりをもたせる。ゆとりの日の定時退庁の習慣化を進め、時休を取りやすくしていく。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の時間外勤務時間上限基準1の年平均達成率を81%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>研究主題に沿った授業研究を行うとともに、経験の浅い教員を対象にメンター研修を定期的に行い、教員の資質向上を図る。また、教職員のニーズに合わせた研修会を企画したり、積極的に他校への研修会に参加できる体制を確立したりする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修後のアンケートによる「研修の内容は充実していましたか」に対して肯定的に回答する割合を90%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
最終目標への改善点	

